

## サーキュラーエコミーに関する定量目標の公表について

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:池田 雅一)は、経済産業省が主導するサーキュラーエコミーに関する産学官連携パートナーシップ「サーキュラーパートナーズ」に参画しています。同パートナーシップの参画要件である、サーキュラーエコミーに関する定量目標について、以下の通り公表します。

### ■ サークュラーエコミーに関する定量的な目標

会員名称	取り組み	定量的目標	達成時期
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	循環経済型ビジネスの推進に資する主導的な国際標準化活動(日本発の新規業務項目提案や関連規格原案の作成におけるプロジェクトリーダーやこれに準じた役割での主導的関与等)	1規格/年以上	2025年 3月31日

(参考)サーキュラーエコミーに関する産官学のパートナーシップ「サーキュラーパートナーズ」について

循環経済(サーキュラーエコミー)を実現するに当たっては、個社ごとの取り組みだけでは経済合理性を確保することは難しく、関係主体の連携による協調領域の拡張が必須となります。そこで、2023年3月に策定された「成長志向型の資源自律経済戦略」の実現に向けた具体的なアクションの一つとして、経済産業省は、同年9月12日より「サーキュラーパートナーズ」の会員募集を開始し、同年12月22日に立ち上げイベント・第1回総会を開催しました。

#### ● 「サーキュラーパートナーズ」の概要

参考:経済産業省ニュースリリース

<https://www.meti.go.jp/press/2023/09/20230912002/20230912002.html>

参考:サーキュラーパートナーズ(CPs)ウェブサイト

<https://www.cps.go.jp/>

#### ● 「サーキュラーパートナーズ」における参画要件(企業・業界団体)

- サーキュラーパートナーズへの参画から原則1年以内に、サーキュラーエコミーに関する定量的な目標設定を行い、事務局へ提出すること。また、軽微な変更を除く目標変更を行った場合にも事務局へ提出すること。
- サーキュラーエコミーに関する定量的な目標及び当該目標の達成のための具体的な取組についてホームページ等で公表すること。
- サーキュラーエコミーに関する定量的な目標の達成度について、原則1年ごとにフォローアップを行い、事務局へ提出すること。